

1 調査名称：外環と周辺のまちづくりに関する調査委託
(調査名：平成24年度外環周辺の都市計画道路に関する調査委託 (その3))

2 調査主体：東京都

3 調査圏域：東京都市圏

4 調査期間：平成13年度～平成25年度

5 調査費：2,383,500円

6 調査概要：

東京外かく環状道路（以下、「外環」という。）は、平成19年4月に高架方式から地下方式に都市計画が変更され、平成21年5月には、関越道から東名高速までの約16kmについては事業化された。

本調査は、外環本線の地下化を踏まえ、外環の地上部街路である外環の2及び外環に関連する道路について、その検討に必要な調査を実施するものである。

I 調査概要

1 調査名

平成 24 年度外環周辺の都市計画道路に関する調査委託（その 3）

2 報告書目次

第 1 章．業務概要

1. 業務の目的
2. 業務の実施項目

第 2 章．交通量推計の現況再現性の確認

1. 交通量推計の方法
2. 現況交通量配分（現況再現性の確認）
3. 外環関連都市計画道路周辺地域の将来交通量の推計
4. 外環関連都市計画道路の整備の必要性の検証

第 3 章．外環関連都市計画道路の道路線形の検討

1. 設計条件の設定
2. 外環関連都市計画道路の道路線形の検討

第 4 章．関係機関との協議資料の作成

3 調査体制

該当なし

4 委員会名簿等：

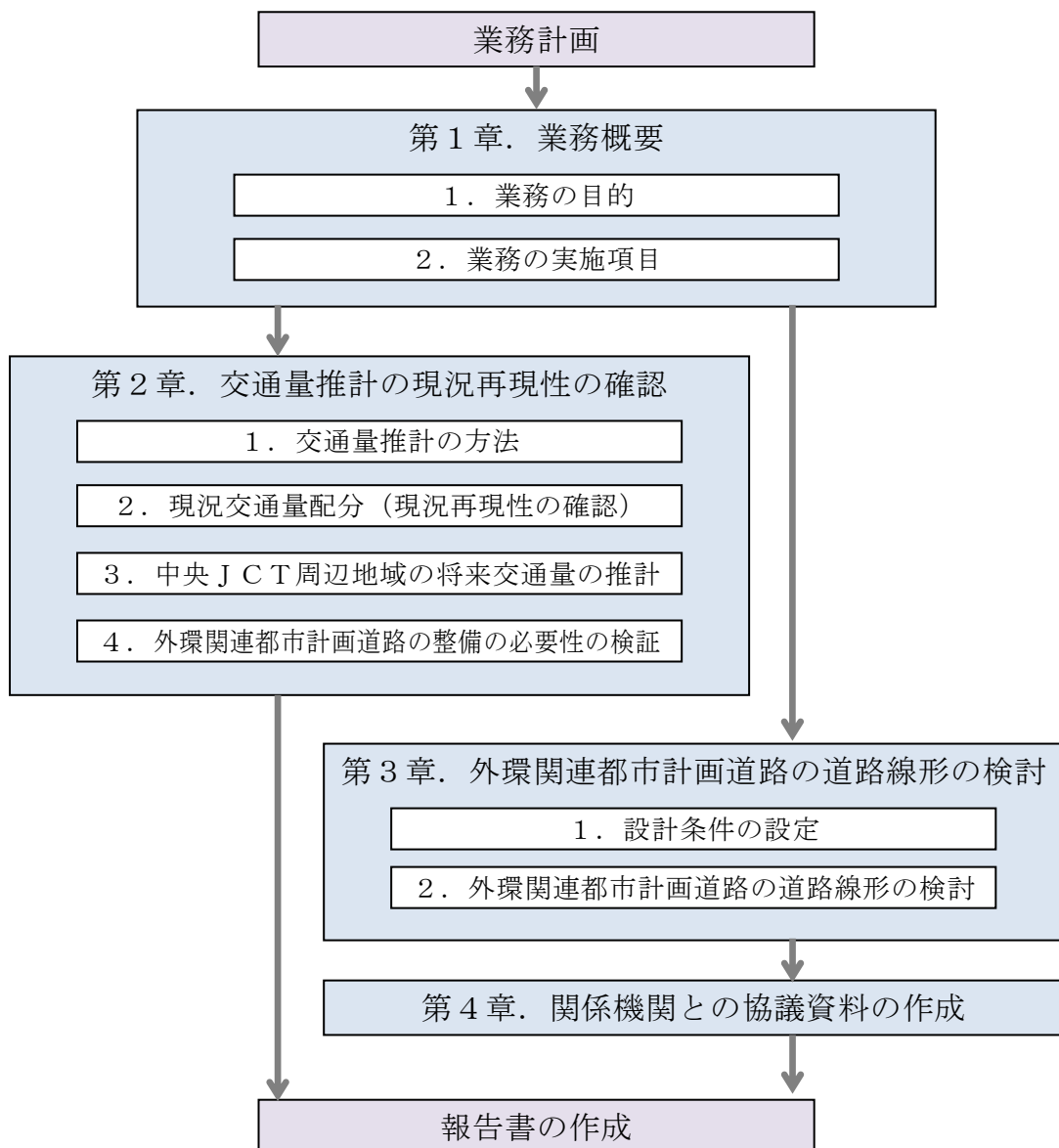
該当なし

II 調査成果

1 調査目的

- 外環の関連したまちづくりや道路計画について調査・検討を行うとともに、関係機関との協議に必要な資料を作成することを目的としている。

2 調査フロー



3 調査圏域図



4 調査成果

(1) 交通量推計の現況再現性の確認

中央 J C T 周辺地域の現況道路網等を踏まえ、交通量推計を実施し、現況再現性について確認を行った。

(2) 中央ジャンクション付近の交通量推計

現況再現を実施した現況道路ネットワークに、外環関連の都市計画道路、及び外環の整備に伴う機能補償道路を追加し、将来（平成 32 年）交通量の推計を行った。

将来交通量の推計は、外環関連の都市計画道路の整備方法を考慮した 3 つのケースについて実施した。

(3) 外環関連都市計画道路の整備の必要性の検証

交通量推計の結果を踏まえ、外環関連都市計画道路の整備の必要性を検証するため、外環関連都市計画道路の整備方法を考慮した 3 つの推計結果を比較分析し、周辺街路や機能補償道路に与える影響について検証し、外環関連都市計画道路の整備効果、及び整備の必要性について整理を行った。

(3) 外環関連都市計画道路の道路線形の検討

検討対象とする外環関連都市計画道路に接続する都市計画道路の道路構造、将来交通量などを参考に設計条件を設定した上で、外環関連都市計画道路についての概略検討を行った。

概略検討では、平面・縦断の計画を行うとともに、中央 J C T 付近の主要道路との交差点形状について複数案検討を行った。